

種類別明細書(増加資産・全資産用)

※ 所有者コード														所有者の氏名又は名称		1枚のうち	
12345														花城建設株式会社		1枚目	
行番号	資産の種類	資産コード (記入しない)	資産の名称等	数量	取得年月			(イ) 取得価額	耐用年数	(ロ) 減価残存率	(ハ) 価額	課税標準の特例		課税標準額	増加事由	摘要	
					年号	年	月					率	コード				
01	1	001	アスファルト舗装工事	1	4	28	4	500,000	10	0.794	70,846	資産が減少した場合、抹消線を引き、摘要欄に減少事由を記入			1・2 3・4		
02	2	002	冷房・暖房設備	1	4	28	4	600,000	15	0.858	163,704				1・2 3・4		
03	2	003	バインダー	1	4	28	7	300,000	5	0.631	25,877				1・2 3・4	滅失	
04	6	004	パソコン	3	4	31	3	600,000 800,000	4	0.562	40,000				1・2 3・4	一部滅失	
05															1・2 3・4		
06	6	記入不要	コピー機	1	5	7	10	300,000	5		記入不要				① 1・2 3・4	増加事由の該当する番号に○を記入 1…新規取得 2…中古品取得 3…移動による受け入れ 4…その他	
07	6	記入不要	応接セット(中古R5式)	1	5	7	11	250,000	6		記入不要				② 1・2 3・4		
08														1・2 3・4			
09															1・2 3・4		
10			資産の種類は 1…構造物 2…機械及び装置 3…船舶 4…航空機 5…車両及び運搬具 6…工具、器具及び備品					資産の取得年月を記入。年号は 3…昭和 4…平成 5…令和			資産の取得価額 (取得するために支出した全ての金額)を記入	耐用年数省令で定められた法定耐用年数を記入 ■中古取得の資産の耐用年数は、 (法定耐用年数－経過年数)＋(経過年数×0.2) ⇒(8年－2年)＋(2年×0.2)＝6.4年→6年(端数切捨) ■法定耐用年数を全て経過した中古取得資産の耐用年数は、 法定耐用年数×20分の1(端数切捨、下限は2年)					